

2019年度秋季大会の報告

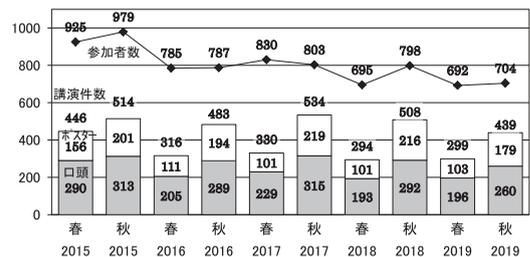
2019年度秋季大会は、福岡国際会議場（福岡県福岡市博多区石城町2-1）を会場として2019年10月28日（月）～10月31日（木）に行われた。参加者数（参加キャンセルを除く前納登録者と当日受付者の合計）は704名であった（第1図）。

2日目午後には、金谷有剛氏に堀内賞が、今田由紀子氏と佐藤陽祐氏に正野賞が、道端拓朗氏と横田祥氏に山本賞が、高野哲夫氏と中山秀晃氏に小倉奨励賞がそれぞれ授与され、堀内賞・正野賞・山本賞の受賞者による記念講演が行われた。3日目午前には、前日午後開催された小倉特別講義との連携セッションが開催された。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する6件の専門分科会が行われた。一般講演の発表件数は368件（内訳はポスターが179件、口頭発表が189件）、専門分科会は71件で計439件であった。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる4件の研究会が開かれた。また、国際学術交流委員会の主催により、第二回小倉特別講義が開催された。

2018年度秋季大会限りで製本版の予稿集は廃止され、今大会も全ての大会参加者に電子版予稿集の配布



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。

を行った。

会員の皆様には大会全般に関するアンケート調査にご協力頂きました。誠にありがとうございました。

今大会の開催に当り、13の企業・団体からご出展・リクルートブースご開設・ご協賛を頂きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた九州大学、福岡大学、福岡管区気象台の皆様深く感謝の意を表します。

2019年11月 講演企画委員会